

令和6年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立出雲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・発達段階に応じて目標とする技能を明確にし、学習カードやタブレット端末を活用して指導を積み上げた。
- ・児童が体を動かす機会を確保するため、休み時間に校庭で体を動かせる時間を増やすことができた。

(2) 課題

- ・区教研体育部での授業実践を学校全体に広め、個別最適な協働的な学びを推進していく。
- ・体育学習を充実させるための教具を揃えたり、活動の場を増やしたりしていくことで、児童が体を動かす楽しさを実感できるようにする。
- ・実態に合わせて、年間を通して行える常時活動などを取り入れて、体力向上を促せるようにする。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・各単元における主運動に繋がる運動を、導入で取り入れる必要がある。 ・苦手意識がなくなるよう、誰でもできる簡単な動きを取り入れる必要がある。 ・コーディネーショントレーニングを取り入れ、基礎的な体幹の向上を今後も継続していく。	・運動に楽しみながら取り組めるよう、学習カードを活用して、めあてをもって臨んだり、振り返ったりする。 ・チームで作戦を考えたり、友達の良いところを取り入れたりできるような授業づくりを行う。	・電子黒板でお手本や技のポイントをおさえ、活動への意欲をもたせる。 ・友達と称賛し合える学習活動を取り入れることで、自信をもって取り組めるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動の基本となる筋力や持久力、柔軟性などを高める活動を取り入れ、基礎体力を向上させる必要がある。 ・健康な暮らしを行うために、保健領域の知識を習得し、自らの生活をよりよくする知識を育成させる必要がある。	・どうやったらうまくできるのかを友達同士で話し合ったり、教師が的確な助言を行ったりする。 ・安全でルールを守って活動できるように、約束を守れるようにする。	・学習カードを活用し、自分が上達したこと、できたことを目視できるようにして、目標をもって学習に取り組めるようにさせる。 ・タブレットを使用し、各運動のよさや楽しさを共有できるようにさせる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・各単元で身に付けるべき技能を明確にし、成功体験を積み重ねるとともに、主運動を応用した様々な運動の指導をする必要がある。 ・スモールステップで指導することで、知識や技能の獲得を実感できるようにする。	・学習カードやタブレット端末を基に、自分の言葉や動作で、考えを伝え合えるようにする。 ・タブレット端末を活用し、それぞれが自身の学びを調整し、個別最適化の学びを進めていく。	・各運動のよさや楽しさを共有しながら学習を進める。 ・運動をする・見る・知る・支えるといった様々な関わり方があることを知らせる。 ・児童の実態に合わせて、誰もが主体的に取り組むこ

る必要がある。 ・心身の発達段階や児童の実態に合わせた保健領域の知識を習得し、自らの生活をよりよくする知識を育成する必要がある。		とができるようにする。 ・養護教諭と協力しながら、校内の保健室の使用状況を把握して、実態に合わせて、主体的に取り組むことができるようにする。
---	--	---